

1. 整備計画											
計画の名称	ふじのくに静岡県舗装の長寿命化の推進										
計画の期間	平成29年度 ~ 令和3年度			交付対象	静岡県						
計画の目標	本県の道路整備計画である「ふじのくに」のみちづくりに基づき、舗装の劣化・破損が著しい箇所を計画的に修繕することにより、良好な生活環境と安全性の確保及び舗装の長寿命化を目指す。										
計画の成果目標 (定量的指標)	修繕が必要と診断された健全性区分Ⅲ-2 (路盤以下の層が損傷していると想定される箇所) の対策実施割合の向上										
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考				
				当初現況値	中間目標値	最終目標値					
				(H29当初)	—	(R3末)					
①	対策完了箇所延長/健全性区分Ⅲ-2の延長			0%	—	100%					
②											
③											
全体事業費	合計 (A+B+C)	5,761 百万円	A	5,761 百万円	B		C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)			
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (延長・面積等)		市町名		全体事業費 (百万円)	備考		
道路		(国) 136号ほか、土肥ほか	舗装修繕 16km		伊豆市ほか		1,169	1次緊急輸送路			
		(国) 362号ほか、下長尾ほか	舗装修繕 3km		川根本町ほか		261	2次緊急輸送路			
		(国) 414号ほか、志下ほか	舗装修繕 1km		沼津市ほか		51	3次緊急輸送路			
事業数		(主) 伊東修善寺線ほか、冷川ほか	舗装修繕 7km		伊豆市ほか		372	1次緊急輸送路			
		(主) 富士清水線ほか、原ほか	舗装修繕 8km		沼津市ほか		473	2次緊急輸送路			
		(主) 島田川根線ほか、神座ほか	舗装修繕 5km		島田市ほか		277	3次緊急輸送路			
9		(主) 伊東大仁線ほか、田原野ほか	舗装修繕 50km		伊豆の国市ほか		2,855				
		(国) 150号ほか、野秋ほか	路面性状調査 3,200km		焼津市ほか		128				
2. 事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成 △: 計画期間終了後に完成見込 —: その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●: 本計画の期間中に完成 ▲: 本計画の期間終了後に完成見込)											
計画の移行なし	○	1	△	7	—	1	備考	路面性状調査未実施	計画の移行あり	●	▲
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する		舗装の劣化・破損が著しい箇所を修繕することにより、安全で快適な走行の確保が着実に進んでいる。									
交付対象事業の効果の発現状況		計画的な修繕により舗装寿命を延伸させ、効率的で経済的な維持管理 (予防保全型管理) が可能となった。									
II 定量的指標の達成状況	指標① (対策完了箇所延長/健全性区分Ⅲ-2の延長)	最終目標値	100%		目標値と実績値に差が出た要因	舗装事業実施計画は、路面性状測定車で取得した、ひび割れ率、わだち掘れ深さ、平坦性と性能低下予測から年度ごとの補修箇所や維持修繕工法を定めており、実施にあたり詳細調査により路盤以下の健全性、路床状態を確認した上で適切な措置を講じている。当初計画では、本県の標準舗装断面で計画していたが、舗装修繕の実施にあたり、現地の詳細調査を実施した結果、想定したよりも路盤以下の健全性が悪いことが判明し、舗装構成の変更が生じたことから、目標値に到達しなかった。					
		最終実績値	34%								
	指標② ( )	最終目標値			目標値と実績値に差が出た要因						
		最終実績値									
	指標③ ( )	最終目標値			目標値と実績値に差が出た要因						
		最終実績値									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		緊急輸送路等防災上重要な道路を修繕することにより、災害発生時における地域の安全性が確保された。									
4. 今後の方針等											
引き続き、舗装の劣化・破損が著しい箇所を計画的に修繕し、良好な生活環境と安全性の確保及び舗装の長寿命化を目指す。											

## (1) 事業の目的

本県の道路整備計画である「“ふじのくに”のみちづくり」に基づき、舗装の劣化・破損が著しい箇所を計画的に修繕することにより、良好な生活環境と安全性の確保及び舗装の長寿命化を目指す。

## (2) 指標：修繕が必要と診断された健全性区分Ⅲ-2（路盤以下の層が損傷していると想定される箇所）の対策実施割合の向上

(対策実施割合) = (対策完了箇所延長) / (健全性区分Ⅲ-2の延長)

### 指標の達成状況

最終実績値は34%であり、目標を達成できなかったが、舗装の劣化・破損が著しい箇所を修繕することにより、安全で快適な走行の確保が着実に進んでいる。

また、計画的な修繕により、舗装を寿命を延伸させ、効率的で経済的な維持管理（予防保全型管理）が可能となった。

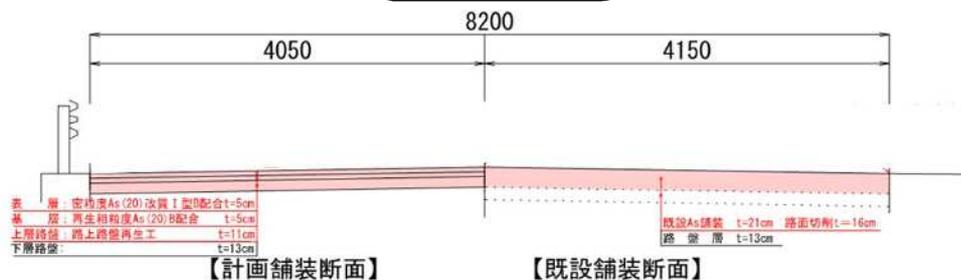
計画の成果目標	定量的指標		
	H29当初	R3末最終目標	R3末最終実績
健全性区分Ⅲ-2の対策実施割合	0%	100%	34%

## (3) 指標に関連する実施事例

A01-005 (主) 伊東修善寺線 (伊豆市年川) 舗装修繕



### 断面図



## (4) 定量指標以外の効果発現状況

緊急輸送路等防災上重要な道路を修繕することにより、災害発生時における地域の安全性が確保された。

## (5) 今後の方針と目標達成見込み

引き続き、舗装の劣化・破損が著しい箇所を計画的に修繕し、良好な生活環境と安全性の確保及び舗装の長寿命化を目指す。

参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	98 ふじのくに静岡県の舗装の長寿命化の推進		
計画の期間	平成29年度 ~ 令和3年度（5年間）	交付対象	静岡県

	国道	県道
地方道路整備事業	●	●
関連社会資本整備事業	◇	◇
効果促進事業	△	△

● ● A001～A009 舗装修繕

